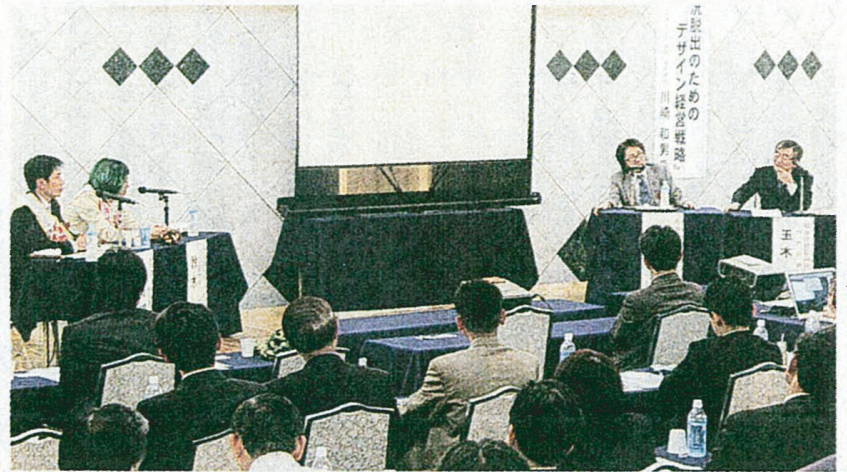


不況の中 組織再構築を

県経営品質賞表彰、10周年式典

川崎氏(阪大大学院教授)が講演

二〇〇八年度の県経営品質賞の表彰式と県経営品質協議会(玉木洋代表幹事)の設立十周年記念式典は六日、福井市のユアーズホテルフクイで行われた。記念式典ではデザインディレクターで大



県経営品質協議会の記念式典で行われたパネルディスカッション＝6日、福井市のユアーズホテルフクイ



県経営品質賞優秀賞の表彰を受けるパナ・モータ社家電電装モータビジネスユニット

阪大大学院教授の川崎和男氏(同市出身)が講演やパネル討論会に参加、不況脱出に向けた経営戦略などについて語った。川崎氏は「不況脱出のためのデザイン経営学」と題して基調講演した。「不況、不景気は人間でいえば鬱病のようなもの」とし、外因性、内因性、心因性の要因を見極め対処しなければならぬとした。不況の中で企業は組織を再構築する必

要があるとし「組織には非常に重要な人、否定できる人が不可欠」と話した。引き続き開かれたパネル討論会では、川崎氏のほか、映像教材製作・販売のウォンツ(鯖江市)の鈴木洋社長、自動車販売のカワムラモーターズ(美浜町)の河村将博社長がパネリストとなり、意見交換。組織の再構築については「社員が一体となってチャリティー活動やイベントを行うといい」「話し合いを深め、連帯感や同質感を持つことが大事」と一体感の大切さを訴える意見が出た。

記念式典に先立ち行われた表彰式では本年度、優秀賞に選ばれたモーター製造のパナソニックモーター社家電電装モータビジネスユニット(越前市・高田和幸ビジネスユニット長)、奨励賞の染色加工のウエマツ(福井市、上松信行社長)に県経営品質委員会の上總康行委員長が記念の盾を贈った。

上總委員長は両社の取

り組みのレベルが高いことを評価し「他社のモデルとなるようさらに磨きをかけてほしい」と述べた。